



Sustainability Report 2024

Hokuriku Coca-Cola Bottling Co.,Ltd.

Coca-Cola

HOKURIKU COCA-COLA
BOTTLING CO.,LTD.

INDEX

- 02 経営理念とビジョン
- 03 トップメッセージ
- 04 北陸コカ・コーラグループ事業概要
- 05 北陸コカ・コーラグループ 拠点一覧
- 06 日本のコカ・コーラシステムのサステナビリティ
- 07 2022-2023年 サステナビリティ活動のサマリー
- 08-09 ■ 多様性の尊重
- 10-13 ■ 地域社会
- 14-17 ■ 資源「容器の2030年ビジョン」
- 18-19 北陸コカ・コーラプロダクツ(株) 砺波工場
- 20 製品ポートフォリオ
- 21 北陸コカ・コーラこれまでのあゆみ

【編集方針】

本レポートは、日本のコカ・コーラシステムのサステナビリティに対する考えを示し、またそれに基づく具体的な当社グループの活動内容や取り組みをわかりやすく紹介し、みなさまからのご意見をいただき、持続可能な活動につなげることを目的に発行しています。

【対象期間】

2022年1月1日～2023年12月31日 ※活動内容の一部は2024年も含みます

経営理念

私達は、リフレッシュメントの提供を通じて社会に大きな価値を提供し続けます。

経営ビジョン

- 働く喜びが実現でき、元気ある企業を目指します。
- それぞれが自立し、純粋に価値創造を追求し、常に進化発展し続けます。
- 消費者、顧客、地域社会に愛され、信頼され、身近で魅力あふれる企業を目指します。

社訓

創意 ... アイディア

奉仕 ... サービス

勇気 ... ファイト

大切にしている3つのもの

① 仕事を通じて社会に提供している価値

- リフレッシュメントの質と量を高めていく

② お客様

- お客様に楽しんでいただく、喜んでいただくこと

③ 仲間

- 製品に携わる全ての仲間を大切にする

【用語について】

■「ボトラー社」は、全国5つのボトラー社を指します。

(北海道コカ・コーラボトリング株式会社、みちのくコカ・コーラボトリング株式会社、コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社、北陸コカ・コーラボトリング株式会社、沖縄コカ・コーラボトリング株式会社)

■「コカ・コーラシステム」は、グローバルに事業を展開するコカ・コーラ社を指します。

■「日本のコカ・コーラシステム」は、日本コカ・コーラ株式会社および全国5つのボトラー社と関連会社を指します。

■「お客様」には、製品を購入いただいた方のみならず、すべての生活者が含まれます。

本レポートに関するお問い合わせ先：

北陸コカ・コーラボトリング株式会社 経営サポート推進室 広報 PR 課 0766-31-1115

<https://www.hokuriku.ccbc.co.jp/>

● TOP MESSAGE

社会の変化に対応しながら、本質を追求し、さわやかさをつなぐ企業であり続けます

当社は1962年に前身である北陸飲料株式会社を富山県砺波市で創業して以来、ふるさとの豊かな水の恩恵を受け、清涼飲料水の製造・販売を行ってきました。

私たちはこの豊かな水があってこそ事業活動が継続できるものと認識し、感謝の気持ちと責任をもって資源を次世代につなぐ役割があると考えています。

そこで当社は庄川水系の環境保全を目的として2005年より南砺市で植林活動「うるおいの森づくり」を毎年行っており、活動は今年で20年目となります。

地域社会が抱える課題をともに解決するため、私たちが60年以上育んできた地域とのネットワークを最大限活用し、さらに進化した「地域と地域」、「企業と企業」をつなぐ存在になりたいと考えています。

令和6年1月1日、石川県能登半島を震源とする大規模な地震が発生しました。

お亡くなりになられた方々に謹んでお悔やみを申し上げますとともに、被災されました皆様に心からお見舞い申し上げます。

また、被災者の救済と被災地の復興支援のためにご尽力されている方々に深く敬意を表します。

当社は国や行政からの要請に基づき、発生当日から支援物資として累計71万本以上（6月末時点）の「い・ろ・は・す」を中心

とした飲料水を提供いたしました。

私たちの事業は人々の日常生活に密接に結びついていること、そしてそれだけ責任も重いことを改めて感じさせられました。

いつ何が起こるか誰にもわからない時代だからこそ「人と人の共感性」を大事にし、何が起きても社会が「生き生きと、存続できることを心より願います。



北陸コカ・コーラボトリング株式会社
代表取締役会長

稲垣 晴彦



北陸コカ・コーラボトリング株式会社
代表取締役社長執行役員

井辻 秀剛

北陸コカ・コーラグループ事業概要

地域に根ざしたリフレッシュメント創造企業を目指し、富山、石川、福井、長野県の皆さまに“さわやかさ”をお届けしています。

商号 / 北陸コカ・コーラボトリング株式会社
HOKURIKU COCA-COLA BOTTLING CO.,LTD.

本社所在地 / 〒933-0397 富山県高岡市内島 3550 番地

会社設立日 / 1962年(昭和37年)6月5日

資本金 / 1億円

売上高 / 387億5,100万円(2023年実績)

代表者 / 代表取締役会長 稲垣 晴彦

代表取締役社長執行役員 井辻 秀剛

従業員数 / 349名(2024年3月現在 正社員のみ)

事業内容 / 清涼飲料の販売

グループ会社 / 株式会社ベネフレックス

北陸コカ・コーラプロダクツ株式会社

株式会社なぶーる



【協会社】

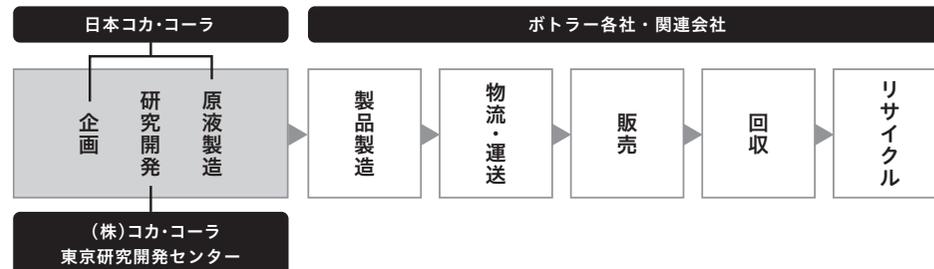
GRN 株式会社、IRM ジャパン株式会社、GRN エコサイクル株式会社、若鶴酒造株式会社、株式会社イオリ、株式会社リラックス、有限会社ウィック、GRN テクノソリューション株式会社、昭和工業株式会社、GRN ベンチャーズ株式会社

【関係会社】

双爽コーポレーション株式会社、さわやかリテールサポート株式会社



日本のコカ・コーラシステム



日本のコカ・コーラシステムは、原液の供給と製品の企画開発やマーケティング活動を行う日本コカ・コーラ株式会社と、製品の製造・販売などを担う5つのボトラー会社および関連会社で構成されています。

日本のボトリングパートナー

- ① 北海道コカ・コーラボトリング株式会社
- ② みちのくコカ・コーラボトリング株式会社
- ③ コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社
- ④ 北陸コカ・コーラボトリング株式会社
- ⑤ 沖縄コカ・コーラボトリング株式会社



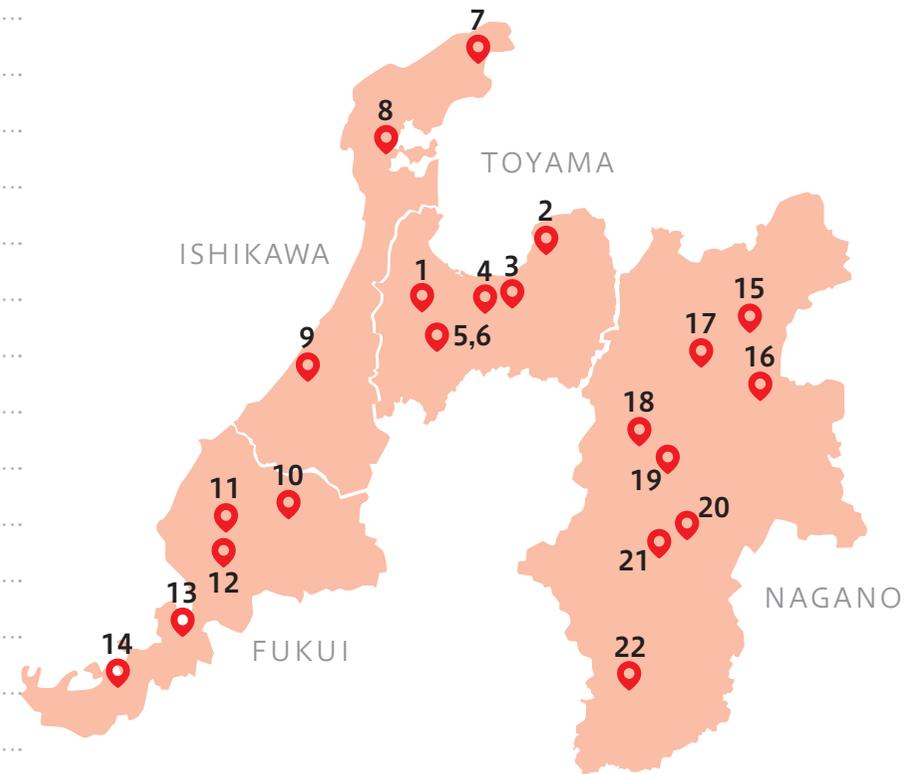
数字で見る北陸コカ・コーラグループ



北陸コカ・コーラグループ 拠点一覧

- | | | |
|---------------------------|----------|---------------------------|
| 1. 本社 | 933-0397 | 富山県高岡市内島 3550 |
| 2. 黒部事業所 | 938-0806 | 富山県黒部市前沢字阿原 2378 |
| 3. 富山MSC | 931-8435 | 富山県富山市小西 171-1 |
| 4. コラボレーション
オフィスTOYAMA | 930-0858 | 富山県富山市牛島町9番5号 Dタワー富山 2F |
| 5. 砺波工場 | 939-1401 | 富山県砺波市東保 1202-1 |
| 6. 砺波LC | 939-1401 | 富山県砺波市東保 1202-1 |
| 7. 珠洲事業所 | 927-1228 | 石川県珠洲市宝立町柏原西 17 |
| 8. 能登事業所 | 929-2222 | 石川県七尾市中島町中島二部 1番4 |
| 9. 石川MSC | 924-0855 | 石川県白山市水島町 480 |
| 10. 奥越事業所 | 911-0814 | 福井県勝山市若猪野 25 字下陰山 3-5 |
| 11. 福井MSC | 918-8025 | 福井県福井市江守中町 7号 26-1 |
| 12. 福井LC | 915-0861 | 福井県越前市今宿町 18号 1 |
| 13. 敦賀事業所 | 914-0814 | 福井県敦賀市木崎 5号北ザマナシ 18-1 |
| 14. 小浜事業所 | 917-0232 | 福井県小浜市東市場 34 号村上 7-1 |
| 15. 長野MSC | 382-8585 | 長野県須坂市大字井上字砂田 1700-8 |
| 16. 東信事業所 | 389-0514 | 長野県東御市加沢字原 1406-1 |
| 17. 更埴LC | 387-0023 | 長野県千曲市八幡 3170 |
| 18. 安曇野事業所 | 399-8204 | 長野県安曇野市豊科高塚 1178-1 |
| 19. 松本MSC | 399-0035 | 長野県松本市村井町北 2丁目 9番 24号 |
| 20. 諏訪事業所 | 394-0044 | 長野県岡谷市湊 5-14-1 |
| 21. 伊那事業所 | 399-0428 | 長野県上伊那郡辰野町大字伊那富字青木 8211-1 |
| 22. 飯田事業所 | 395-0155 | 長野県飯田市三日市場 1166-2 |

● MSC…マーケットサービスセンター、LC…ロジスティクスセンター



※ 2024年8月時点

日本のコカ・コーラシステムのサステナビリティ

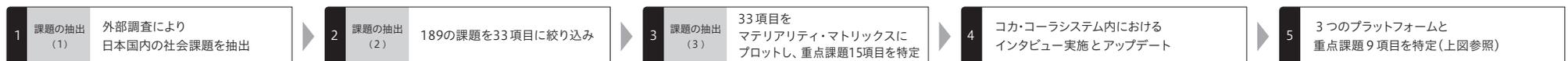
日本コカ・コーラ株式会社と全国5社のボトリング会社などから構成されるコカ・コーラシステムは、「世界中をうるおし、さわやかさを提供すること。前向きな変化をもたらすこと。」の事業目的の通り、日本が直面する重要な課題に対し、ビジネスを通じて変化をもたらしながら、未来を共創していくことに責任を持って取り組みます。2020年には「多様性の尊重」「地域社会」「資源」の3つのプラットフォームと9つの重点課題を特定し、システム共通のサステナビリティフレームワークを策定しました。各領域において事業活動を通じて社会課題の解決を目指すことで、持続可能な開発目標 (SDGs) の達成にも貢献してまいります。

日本のコカ・コーラシステムのサステナビリティフレームワーク (3つのプラットフォームと9つの重点課題)



9つの重点課題はさらに、喫緊の課題とする優先事項5項目と、現時点では優先度は比較的低いが重要と捉える重点事項4項目に分類しています。また、3つのプラットフォームにおける持続可能な開発目標 (SDGs) との関わりを検証し、SDGsの達成も目指します。日本のコカ・コーラシステムは、重点課題をもとに、さらに具体的なアクションを再構築しています。また、日本のコカ・コーラシステムの活動の進捗状況や成果は、引き続きWEBサイトなどを通じて定期的に報告すると同時に、NPO や外部専門機関、有識者など第三者意見を取り入れ、時代に即した活動に取り組みます。

9つの重点課題 (マテリアリティ) 特定プロセス



2022-2023 年 サステナビリティー 主な活動のサマリー

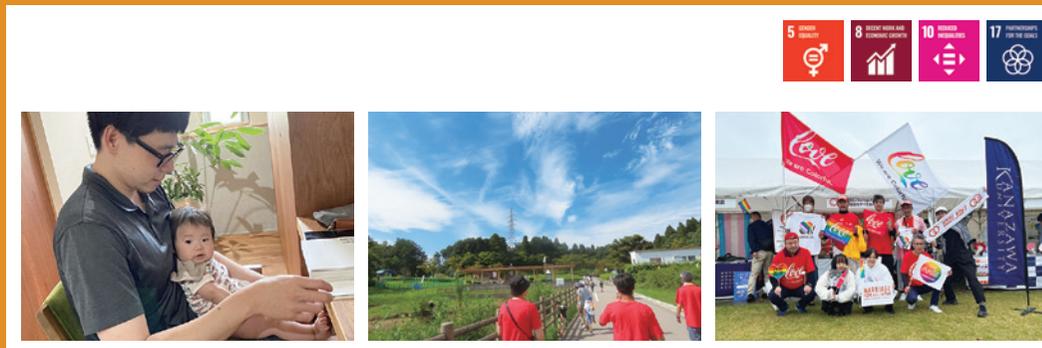


多様性の尊重

Inclusion

ダイバーシティ&インクルージョンを推進しています。

- 男性育休取得率 100%を実現
- 女性の健康と女性の活躍推進
- 自立した個性の尊重と多様性の理解
- 健康が全ての基盤
- 健康を支える社会貢献



地域社会

Communities

事業活動を通して、サステナブルな地域社会づくりに貢献しています。

- 全社一斉美化奉仕活動
(2024年6月1日、全22拠点にて約570人の従業員が参加)
- 地域ボランティア(富山県射水市六渡寺の海岸清掃)
- 出前講座(水分補給・ものづくり・リサイクル・SDGs講座)
- SDGs パートナー宣言(福井県、南砺市、富山県、高岡市)



資源

Resources

限りある資源の持続可能な利用を推進しています。

- ボトル to ボトルの推進、行政・民間との回収スキーム構築 (GRN エコサイクル)
- 水源涵養活動(北陸コカ・コーラ「うるおいの森づくり」活動、水の日工場見学、富山県との共催「森と地下水の環境観察会」の開催)
- 砺波工場の取り組み
- 容器リサイクル処理量 (GRN エコサイクル)





多様性の尊重 | Inclusion

ダイバーシティ & インクルージョンを推進



Inclusion
多様性の尊重

Communities
地域社会

Resources
資源

ジェンダー

男性育休取得率 100% を実現

仕事と家庭を充実する職場環境づくりを目指し、女性・男性の区別なく、グループとともに働く従業員の育児休業取得を推奨しています。
子の出生申請時に本人と上司、人事課担当者と本人が取得しやすい休み方について話し合いを行い、最良の選択ができるよう支援しています。



2023年に男性育休取得率100%を実現し、内19名が連続14日間以上の育休を取得。

女性の仕事と育児の両立をサポートする企業として、一定基準を満たしていると認定され「くるみん認定」を取得。

育休取得率	2021年	2022年	2023年
女性	100%	100%	100%
男性	42%	81%	100%

女性の健康と女性の活躍推進

女性の健康課題に関する基礎知識の習得とキャリアや仕事との両立を検討する機会を提供しています。
富山県が主催する「煌めく女性リーダー塾」に毎年参加すると共に、社内においても、女性の健康課題に対するリテラシー向上のためのセミナーを開催し、職場における女性のパフォーマンス向上に繋げています。

LGBTQ

自立した個性の尊重と多様性の理解

個々の性別、性的指向、性自認にかかわらず、お互いに自立した個性を尊重し、差別やハラメントのない働きやすい環境の整備に取り組んでいます。
あわせて、SOGI（性的指向・性自認）の多様性について理解を促進するための啓発活動を積極的に実施しています。



障がい者

全肢連への支援

コカ・コーラシステムは、一般社団法人 全国肢体不自由児者父母の会連合会（全肢連）に対し、全肢連のステッカー付き自動販売機の売上金の一部を全肢連・県肢連の活動費として寄付するなど、1980年より40年以上にわたり支援しています。

特性、能力を発揮し輝ける環境

共に働く人の多様性と受容性を尊重し、障がいのある方が働きがいを持ち、それぞれの特性、能力を発揮し、輝ける環境の実現を目指しています。
障がいのある方が働きやすい環境や長期的かつ安定的に活躍できる職場づくりに取り組み、法定を大幅に上回る雇用率を実現しています。

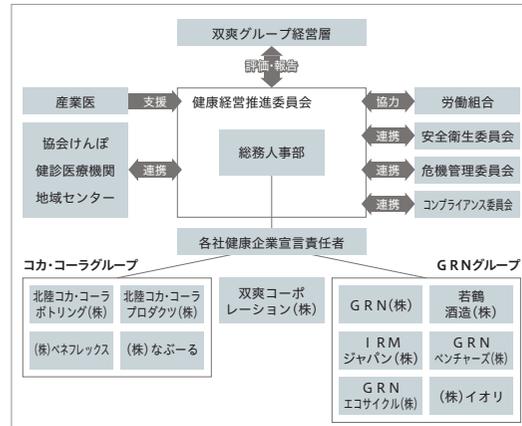
年齢 / 世代

健康が全ての基盤

従業員の健康がすべての基盤であるとの認識のもと、「従業員および家族の心身の健康保持・増進」および「健康で快適な職場環境の形成」を目的に健康経営に取り組んでいます。

双爽グループの健康宣言

働く喜びが実感でき、元気ある企業を目指します。従業員の健康がすべての基盤であるとの認識のもと、健康管理を経営的な視点でとらえ、企業活動の一環として戦略的に取り組んでいくことを宣言いたします。



CokeON ウォークイベントの実施

2023年からCokeONアプリを活用したウォーキングイベントを開催しています。運動習慣のきっかけ作りや、日頃は接点のない社員同士や家族同士が交流を深める機会となり、従業員が健康で楽しく働くことをサポートしています。



三協立山株式会社様とウォーキングイベントを共同開催（2023年）

介護休暇の取得を積極的に推奨

全従業員のライフステージの変化に寄り添える会社として、従業員が「柔軟な働き方」を選択できます。育児休暇はもちろんのこと、近年、誰もが直面する可能性のある介護について、介護と仕事を両立しながら働き続けることのできる会社の制度や、無理のないケアを行うための準備や心構えなどについて全社員が学び、“介護に直面しても気軽に相談でき、働き続けられる職場作り”を推進しています。

健康を支える社会貢献

病気や怪我で輸血を必要としている人のために、毎年、各県の事業所において、献血バスでの集団献血を実施しています。血液は人工的に造ることができず、常に不足しているといわれています。今後も健康・医療を支える社会貢献活動の一環として、献血活動への協力を継続していきます。



日本赤十字社石川県支部より感謝状を授与（2024年）

幸福を感じて働ける喜びを仲間と共有

従業員および組織の「心と体」の健康状態を「見える化」し、健康管理を経営的な視点でとらえています。

全事業所で実施する「双爽横丁」では、年齢・世代・性別・業種・職種・職階のあらゆる枠を超え、従業員同士はもちろんトップマネジメントとの直接的なコミュニケーションを深め、ワークエンゲージメントの向上に繋げています。



健康経営の取組みや組織改善の取組みが評価され、「健康経営優良法 2024」「とやま健康企業宣言 金」の認定取得/『Well-Being Workers® Awards 2024』特別賞を受賞



地域社会

Communities

サステナブルな地域社会づくりに貢献



Inclusion
多様性の尊重

Communities
地域社会

Resources
資源

災害協定

本業を通じた社会貢献として、災害時における飲料提供協力などに関する自治体との協定をもとに、優先的な飲料の提供や、災害支援自動販売機の設置を進めています。

この災害支援自動販売機は、遠隔操作でも自動販売機内の飲料を無料で

取り出すことが可能で、自動販売機ならではの機能を活用した支援を行っています。



[災害協定締結状況]

協定締結自治体数	設置台数	
長野県	38	121
富山県	17	136
石川県	22	180
福井県	7	37
合計	84	474

2023.12.31 現在

水分補給セミナー

正しい水分補給の方法や熱中症のメカニズムをお伝えし、熱中症予防に役立てていただくために、お取引企業を中心に水分補給セミナーを開催しております。お取引企業に限らず、学校、施設、スポーツクラブ、障がい者支援施設などにも出張し、地域の皆さまの健康づくりのサポートを進めています。また、オンラインでの講座も開催しています。



地域スポーツチームへの支援

スポーツシーンのトップに位置する地域スポーツチーム(サッカー・野球・バスケットボール・バレーボール等)への応援を通じて、地域へ感動や希望、笑顔を届ける活動を行っています。各スポーツチームへは、コカ・コーラ製品を通じてさわやかさと、活力・希望を提供し、支援機能付き自動販売機の売り上げの一部を、チームの活動資金として寄付しています。



長野県立子ども病院支援自販機(信州)

長野県内唯一の小児専門病院である長野県立子ども病院は2015年度から高度専門医療や人材育成の事業支援のために子ども病院寄付プログラムを開始しました。

当社はその主旨に賛同し、2017年4月に長野県立子ども病院にはじめて支援自販機を設置し、2024年3月現在は28社63台まで展開しています。寄付金は未来ある子どもたちの療養環境の整備に役立てていただいています。



[支援金額実績]

	支援金額
2017年度	196,457円
2018年度	536,353円
2019年度	520,521円
2020年度	444,496円
2021年度	510,245円
2022年度	664,411円
2023年度	735,921円
合計	3,608,404円

うるおいの森づくり

昭和 37 年の創業以来、ふるさとの豊かで良質な地下水の恩恵を受け、清涼飲料の製造・販売を行っています。

この豊かな水の恩恵に感謝し、次世代に確実に残していかなければならないと考え、平成 17 年から庄川水系の山間で植林活動を実施し、今年で 20 年目の活動となります。



[うるおいの森 活動実績]

延べ参加者数	5,542 人
植林面積	8.0ha
植林本数	14,981 本

2023.12.31 現在

清掃ボランティア活動

社員一斉美化奉仕活動

1979 年より、地域社会への貢献と環境美化意識の向上を目的とし、毎年グループ社員約 900 名が一斉に参加して主要道路や公園、海岸、河川敷など約 23 ヶ所の清掃活動を実施しています。



各地に広がる清掃活動の輪

地域の皆さんと連携し、各事業所でも継続的に取り組んでいます。

- 富山県では六渡寺自治会や地元ボランティアグループ「六友会」とともに、射水市の六渡寺海岸での海岸清掃に社員有志で参加しています。
- 北陸電力様とのコラボレーション企画として六渡寺海岸清掃を実施しました。
- 長野県では、諏訪湖アダプト・プログラムに参加し、諏訪湖岸や、道路沿いの除草・清掃作業に参加しています。



学校への出前授業

富山県中学生ものづくり事業

富山県のものづくり人材の育成を目指し、県内の中学生に「学ぶおもしろさ」、「学びへの挑戦」を体験してもらう事業に北陸コカ・コーラも参加しています。少子化や「理科離れ」が課題となる中、2023 年度は富山県内の中学校 17 校で約 1,000 名の学生に対し、ものづくりの魅力や将来の進路を考えるにあたって、中学生のうちに身に付けて欲しいことなどを、講師の体験談を交えながら講義を行いました。



SDGs 講座の実施

地域の小学校や中学校をはじめ、自治体や自治会などでも北陸コカ・コーラにおける SDGs の取り組みを「SDGs 講座」として実施しました。PET ボトルは正しい分別・処理をすれば資源になるということの理解を深めてもらうため、コカ・コーラシステムの「容器の 2030 年ビジョン」をもとにした動画や独自に取り組んでいる事例を交えて説明しました。

公益財団法人 稲垣小太郎記念奨学財団

2005年3月1日に創設者である稲垣 小太郎の30回忌を記念して設立した当財団では、青少年の向学の志にできる限りの援助の手をさしのべ、富山県の教育振興と地域社会にお役に立てればと考え、これまでに128名の富山県内高等学校出身の学生に奨学援助を行っています。



公益財団法人 コカ・コーラ教育・環境財団奨学金

心豊かでたくましい人づくり (Healthy Active Life) を理念とし、環境教育、教育支援を柱として、次世代を担う青少年の育成を通じ、豊かな社会の形成を目指しています。このうち、奨学支援では、大学在籍中の支援を行い、これまでに214名の卒業生(当社エリア)を送り出しています。2021年度からは環境、特に地球・環境資源関連領域に関して、より専門的な研究を行う大学生の大学院進学も対象となりました。



い・ろ・は・す「水源保全プロジェクト」

「い・ろ・は・す」の全国6ヶ所の採水地をはじめとした全国23ヶ所の水源保全などの活動を行う団体に、公益財団法人 コカ・コーラ教育・環境財団を通じて、「い・ろ・は・す」の売上の一部を寄付し、水資源の保護活動を支援しています。

[2023年度 寄付金額]

	団体名	寄付金額
富山県	富山県(農林水産部森林政策課)	119,167円
石川県	公益財団法人石川県緑化推進委員会	134,063円
福井県	公益社団法人福井県緑化推進委員会	84,410円
長野県	長野県(林務部森林政策課)	158,889円
合計		496,529円



富山県庁での贈呈式

能登半島地震への対応

2024年(令和6年)1月1日16時10分、マグニチュード7.6、石川県輪島市と羽咋郡志賀町で最大震度7を観測する能登半島地震が発生しました。

発生当日より各行政から飲料水の要請があり、翌日2日に危機管理委員会を立ち上げ対応にあたりました。

これまでに累計71万本の「い・ろ・は・す」「綾鷹」「アクエリアス」を支援物資として提供しています。(6月末現在)

6月には売上1本につき10円が石川県を通じて義援金として被災者のもとに届けられる「酒場の檸檬堂 能登復興応援ボトル」を発売し、全国の飲食店で採用いただいています。

また、被災地域の皆さんに、ほっと一息ついでいただこうと、コストコーヒーやジョージアの限定オリジナルボトルを配布するサンプリングを道の駅や仮設住宅等で実施しました。



支援物資の拠点となった石川県産業展示館へ飲料を配送



**お一人様1本、
北陸復興支援 限定デザインの
ジョージアを無料でプレゼント!**

ジョージア THE ブラック、
ジョージア THE ラテの2種類から
お好きな製品をお選びいただけます。

災害時、人的操作で機内の飲料を搬出することができる災害対応型自動販売機は富山・石川県で約1,000台が設置されていますが、今回の震災では70台がフリー稼働し、約13,000本を無償提供しました。ライフラインの復旧や支援物資が届くまでの間、一時的に飲料を提供するインフラとしての役割を担いました。

停電により稼働できなかった事例もあり、今後の教訓として対策を強化していきます。



コカ・コーラシステムからの寄付

- 米国コカ・コーラ財団から 4,500万円
- 公益財団法人コカ・コーラ
教育・環境財団から 2,200万円

を被災地域、特に能登半島で医療サポートを提供している特定非営利活動法人ジャパンハートに寄付しました。

コカ・コーラシステムからの義援金1,000万円と、当社から拠出した1,000万円、合わせて2,000万円の基金を作り、半分を被害の大きかった社員に支給しました。残りの半分は、災害により多くの困難に直面している子どもたちが安心して学び、成長していける環境を取り戻せるよう、

- 珠洲市教育委員会へ 500万円
- 輪島市教育委員会へ 500万円

を少しでもお役に立ちたいという思いで寄付しました。





資源 | Resources

資源の持続可能な利用を推進



Inclusion
多様性の尊重

Communities
地域社会

Resources
資源



容器の2030年ビジョン

日本のコカ・コーラシステムは、グローバルビジョン「World Without Waste (廃棄物ゼロ社会)」に基づき「設計」「回収」「パートナー」の3つの柱からなる活動に取り組み、容器由来の廃棄物削減と、日本国内におけるプラスチック資源の循環利用の促進に貢献しています。「ボトル to ボトル (水平リサイクル)」「ラベルレス・パッケージレス」「容器の軽量化」を推進し、2025年までにすべてのPETボトル製品にサステイナブル素材※を使用し、2030年までにすべてのPETボトルを100% サステイナブル素材へ切り替えることなどを目指しています。

※サステイナブル素材：ボトル to ボトルによるリサイクルPET素材と、植物由来PET素材の合計

廃棄物ゼロ社会実現のための3本の柱

① 設計

- 1. ボトル to ボトル
- 2. ラベルレス
- 3. 容器の軽量化



容器の原料や形状を
100% サステイナブルに

② 回収



GRN エコサイクル

販売した自社製品と
同等量の容器を
回収&リサイクル



③ パートナー



富山県六波寺海岸 (美化活動)

政府、自治体、業界、顧客、
地域社会との協働を通じ、
着実な容器回収・
リサイクルスキームの構築

日本のコカ・コーラシステム「容器の2030年ビジョン」

2020年 → 2021年 → 2025年 → 2030年目標

サステイナブル素材使用率 ※2020年まではボトルtoボトル比率



すべてのPETボトルを
サステイナブル素材に切替

サステイナブル素材を使用している製品の割合 (販売本数ベース)



すべてのPETボトルに
サステイナブル素材を使用

容器の2030年ビジョン

1. 設計

「ボトル to ボトル (水平リサイクル)」の推進により、100% リサイクル PET ボトルの導入を拡大

日本のコカ・コーラシステムでは2018年1月に発表した「容器の2030年ビジョン」に基づき、2025年までにすべてのPETボトル製品にサステナブル素材を使用し、2030年までにすべてのPETボトルを100%サステナブル素材へ切り替えることなどを目指しています。2021年5月には「コカ・コーラ」などの旗艦製品へ100%リサイクルPETボトルを導入したことが寄与し、コカ・コーラシステム全体の国内の清涼飲料事業におけるPETボトル容器のサステナブル素材使用率は40%に到達しています。現在※1、「コカ・コーラ」「い・ろ・は・す」などリサイクルPETボトルの使用拡充が為されています。

また国内で販売している90%以上のPETボトル製品※2に、サステナブル素材が一部または全部使用されています。コカ・コーラシステムは引き続き、「ボトル to ボトル (水平リサイクル)」の推進などによる100%リサイクルPETボトルのラインナップ拡大と、容器由来の廃棄物削減を通じ、プラスチック循環型社会の実現に貢献します。

※1 2022年2月時点 ※2 販売本数ベース



「リサイクルしてね」ロゴを約50%の製品に導入

コカ・コーラシステムではプラスチック循環型社会の実現に向けた啓発活動の一環として、2021年より、すべてのリサイクル可能な製品パッケージに共通の「リサイクルしてね」ロゴの導入を進めています。2022年2月時点で販売中の製品の約50%に「リサイクルしてね」ロゴの導入を完了し、さらに順次拡大中です。「リサイクルしてね」ロゴは、製品パッケージのみならず、広告物やPOP、リサイクルボックス等にも使用し、消費者のみなさまへのコミュニケーションを強化しています。



リサイクルしてね
100%リサイクルペット



容器の2030年ビジョン

1. 設計

ラベルレスを強化、容器の軽量化を促進

ラベルレス

「ラベルレス製品^{※1}」は、製品容器からラベルをなくすことにより、プラスチック使用量を削減するとともに、ラベルをはがす手間をなくし、リサイクルのための分別を楽に行えるようにした製品です。コカ・コーラシステムでは、2020年4月に初のラベルレス製品「い・ろ・は・す 天然水 ラベルレス」を発売。その後ラインナップを拡充し、2022年4月には、「コカ・コーラ」「コカ・コーラ ゼロシュガー」100%リサイクルPETボトル350mlを、新ラベルレスボトルでオンライン限定発売しました。現在^{※2}、ラベルレス製品は10ブランド21製品に拡大しています。

新ラベルレスボトル登場!



100%リサイクルPET 新ラベルレスボトルは100%リサイクルPETを使用しています。

※1 2020年4月、経済産業省において「資源有効利用促進法」に基づく識別表示に関する制度の変更が実施されたことにより、すべての流通段階において外装のある販売単位により最終消費者に販売されるものに限り、ラベルによる識別マークの表示を省略することが可能となりました（オンライン通販等でのケース単位の販売を想定）。

※2 2022年2月時点

100%リサイクルPET素材を使った新デザインの「コカ・コーラ」「コカ・コーラ ゼロシュガー」の発売は日本市場が初となります。

容器の軽量化

日本のコカ・コーラシステムは1980年代より、缶やPETボトルをはじめとした容器の軽量化による省資源化に取り組んでいます[※]。1983年に41gだったコーヒー缶（内容量185gサイズ）は現在9.7gに、また1996年に発売されたミネラルウォーターのPETボトル（内容量555mlサイズ）は、2009年に当時国内最軽量の12gまで軽量化されています。2021年には従来42gだった「コカ・コーラ」の700mlPETボトルを27gへと軽量化しました。これらの取り組みを通じ、容器1本あたりのPET樹脂使用量を2021年時点で約30%（2004年比）削減しています。

引き続き、内容物の保護やお客様の扱いやすさといった容器としての性能を維持向上しつつ、使用する資源量の削減に取り組めます。

42g

2020年



27g

2021年



コカ・コーラTM 700mlPET



2. 回収

PET ボトルの回収から粉碎（フレーク化）までをグループ会社で内製化



GRN エコサイクル株式会社（石川県白山市）

HPはこちら▶ GRN エコサイクル株式会社 (<https://www.grn-company.com/>)

飲料を扱う企業責任として、2002 年よりグループ会社の GRN エコサイクル株式会社で容器のリサイクル事業を発足し、回収した空容器の分別・圧縮・再資源化を 20 年以上に渡り行っています。北陸エリアでは数少ない PET ボトルの粉碎（フレーク化）までを行う中間処理施設となっており、公益財団法人 日本容器包装リサイクル協会の PET ボトル再商品化事業者として認可されています。

リサイクルの流れ

回収・保管

当社事業所からだけでなく、行政からも缶・PET ボトルの回収を行っています。

選別・圧縮

回収された空缶・PET ボトルおよび空びんを種類ごとに分別。缶・PET ボトルは圧縮します。

粉碎・洗浄

事業系・行政系の梱包およびバラの PET ボトルは再度選別され、粉碎（フレーク化）、ラベル剥離、キャップ分離、洗浄し、再生事業者へ搬入されます。

再商品化

資源として処理された加工品は、素材ごとに再商品化利用事業者に渡され、新しく生まれ変わります。



PET ボトルフレーク



たまご梱包パック



プリフォーム
(PET ボトルの原型)



ノベルティグッズ

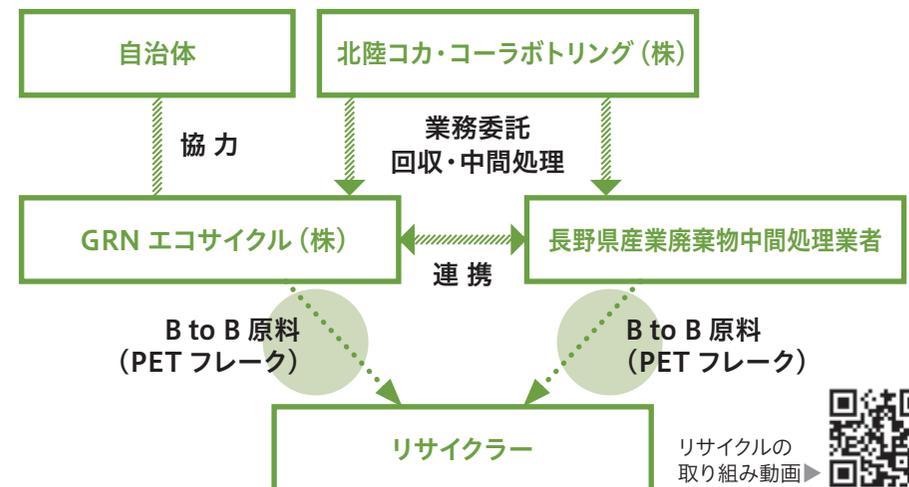
3. パートナー

ボトル to ボトル (B to B) を促進し、水平リサイクルの実現へ

「容器の 2030 年ビジョン」達成に向けて、BtoB 促進に取り組んでいます。GRN エコサイクル株式会社が直接回収した PET ボトルだけでなく、地元自治体と協力し、家庭から排出された PET ボトルも再資源化しています。また、長野県の産業廃棄物中間処理業者と連携・業務委託をし、安定的なリサイクル PET ボトル原料の供給を進めています。

[業務委託の背景]

BtoB 原料を買い集めるのではなく、可能な限り地元でリサイクル（再資源化）を行うことで、持続可能なリサイクルシステム構築に繋がると考えています。



北陸コカ・コーラプロダクツ(株) 砺波工場

品質・食品安全

豊かな自然に抱かれた砺波工場では、大型・小型兼用無菌ライン、缶ライン、PETライン、ガラスびんラインの計5ラインを備え、80種類以上の製品を製造できる体制を整えています。原材料の納入から製品出荷まで、すべての製造工程において、製品の品質と安全性を守るために、厳しく定めた独自の品質管理を行っています。

また、砺波工場は、品質マネジメントシステムの規格「ISO9001」、環境マネジメントシステムの規格「ISO14001」および食品安全システムの規格「FSSC22000」や労働安全衛生マネジメントシステムの規格「ISO45001」の認証を受けています。



ゼロ・エミッションに向けての取り組み

大気や地下水など、周辺の環境にあたる環境負荷低減および温室効果ガス(CO₂)削減のため、工場の燃料は大気を汚染する物質が少ないLPガスを使用しています。また、工場内の省エネにも努め、廃棄物排出ゼロに向けて積極的に取り組んでいます。

工場での太陽光発電

オリックス株式会社に屋根を貸し出し、4,922坪に15,810枚(最大出力1,502kW)の太陽光パネルを設置し、同社の太陽光発電事業に協力しています。

発電した電力は、「再生可能エネルギー特別措置法」に基づき、北陸電力へ売電しています。広大な工場の屋根を活用してクリーンエネルギー創出に協力することで、地球に配慮した工場となり、地域社会へさらに貢献することを目指しています。



厳密な衛生管理

製品の製造工程で菌の混入を防ぐ無菌充填設備の導入をはじめ、製造ラインや使用器具の定期的な洗浄・殺菌はもちろん、工場で働く従業員の健康状態もチェックするなど、すべてにおいて衛生管理を徹底し、常に清潔な状態が保たれています。

エレクトロン・ビーム殺菌

砺波工場では、洗浄水と薬剤を使わずエレクトロン・ビーム(電子線)でPETボトルの殺菌を行う製造ラインを2011年に全世界のコカ・コーラ工場ですべて導入し、水の使用量を大幅に削減することに成功しました。



水資源管理の推進

庄川水系の良質な地下水に恵まれた砺波工場では、工場での製造工程における水の使用量の管理を徹底しています。製品殺菌工程で使用した温水を冷却し再利用する「冷却水節水システム」を導入し、水使用を少なくした生産ラインの導入など水使用量の削減に積極的に取り組んでいます。

利用された水は最終的に排出処理設備を通し、微生物を使う「活性汚泥法」で処理され、環境への負荷が少ない方法で河川に放流します。その際の水質については、水質汚濁防止法や条例を遵守することはもちろん、排水量を削減し、よりきれいな水を自然に還せるよう努めています。

高品質の水づくり

水は私たちコカ・コーラの命の源。コカ・コーラシステムの水質に関する基準は、世界保健機関(WHO)の分析項目ならびに分析値を取り入れています。砺波工場でも、ザコカ・コーラカンパニーが世界共通で定めている基準と日本国内の水道法や水質基準と照らし合わせて、より厳しい基準値を採用しています。

自ら課した厳しい基準値のもと、多様な工程を経て高品質の水につくり替える。この厳しい水処理工程を私たちは「水をみがく」と呼んでいます。

コカ・コーラについて
もっと知りたい!

砺波工場 見学のご案内

〈所在地〉北陸コカ・コーラ砺波工場 〒939-1401 富山県砺波市東保 1202-1

●砺波 IC より…車で約 15 分

●高岡砺波スマート IC (ETC 専用) より…車で約 5 分

〈見学対応曜日〉月・水・金 10:00 ~ / 13:30 ~

※アップサイクルを学ぶランプづくり+工場見学については、13:30 ~ の 1 回のみ

〈ご予約方法〉工場見学をご希望の方は、予約カレンダーから WEB 予約によりお申し込みください。

砺波工場見学
予約ページへ



〈駐車場〉普通車 30 台、大型バス 2 台 (中型バスの場合 3 台)

ご来場手段 (乗用車・バス) によって、入場口が異なります。

ご確認の上ご来場くださいますようお願いいたします。

〈見学コース〉2 つのコースをご準備

Ⓐ工場見学 約 50 分

(工場概要説明、製造工程見学、コカ・コーラ製品の試飲)

Ⓑアップサイクルを学ぶランプづくり+工場見学 約 100 分

定員 / 20 名

対象 / 中学生以上 (小学生以下のお客様は親子での参加が条件となります)

予約受付 / 予約希望日の 7 日前まで

料金 / Ⓐコース…無料 Ⓑコース…1,000 円 (税込) (自動販売機有料) ※お土産付き

Ⓑコースに新設!
“コーヒーカス”を
再利用したランプづくり体験



水の日工場見学の実施

2024 年 8 月 1 日、近隣小学校の児童 15 名に大切な資源である水について学び、関心を高めてもらうために「水の日工場見学」を開催しました。



地元の子どもたちとの交流イベント



砺波工場近くのこども園の年長児さんが昨秋植え付けたチューリップの球根がきれいな花を咲かせ、その花を描くイベントを毎年開催しております。

砺波工場近隣小学校による桜の記念植樹

2022 年 6 月 10 日、地元の豊かな自然に感謝し、次世代につなぐ学びのきっかけにしておとうと、砺波工場近くの砺波市立庄東小学校 6 年生 39 名とともに、創業 60 周年を記念した桜の植樹を行いました。



植えた木々は、葉も大きく、幹も太くなり、少しずつ成長しています!

北陸コカ・コーラ さわやかパーク

砺波工場の隣にある北陸コカ・コーラ さわやかパークは、北陸コカ・コーラ ボトリング株式会社創立 50 周年を記念してつくられた“緑あふれる憩いの公園”です。季節に合った色とりどりのお花を楽しむことができる、地域の皆さんに親しまれる公園を目指しています。

Data.

富山県砺波市東保 1202-1

[利用時間 / 9:00 ~ 17:00]

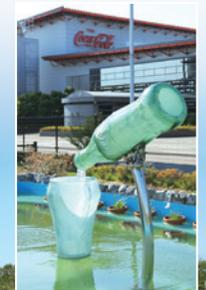
専用駐車場有り

●開園時間帯は常時駐車できます (予約不要)



全国みどりの工場大賞
National Award for Greenery Factory

一般財団法人日本緑化センターが主催する緑化優良工場等表彰 (愛称: 全国みどりの工場大賞) において、「日本緑化センター会長賞」を受賞しています。



さわやかパークに「だれでもトイレ」を完備。気軽にお越しください。

だれでもトイレ
ALL GENDER REST ROOM

日本のお客様の多様なニーズに応える製品ポートフォリオ

コカ・コーラシステムの事業活動は、「いつでも、どこでも、誰にでも」おいしい飲料をお客様にお届けしたいという願いとともに世界に広がり、その願いは「コカ・コーラ」の誕生から138年経過した今も受け継がれています。

日本のコカ・コーラシステムは、炭酸飲料をはじめ、茶系飲料、スポーツ飲料、水など幅広いカテゴリーにおいて、お客様のライフスタイルや嗜好に寄り添った製品を展開しています。



※北陸コカ・コーラボトリングの製品ポートフォリオ。2023年12月数量ベース。北陸コカ・コーラ調べ。

『健康』に着目したトクホ・機能性表示食品

『健康』に対する、日本のお客様の高い意識やニーズを反映し、コカ・コーラシステムではトクホ(特定保健用食品)や機能性表示食品のラインナップを強化しています。2017年には、食事から摂取した脂肪の吸収を抑えて食後の血中中性脂肪の上昇をおだやかにするトクホ製品「コカ・コーラ プラス」を、2021年には、記憶力と血圧にはたらくGABAを機能性関与成分として配合した機能性表示食品「からだおだやか茶W」を発売しました。

日本のコカ・コーラシステムでは現在、トクホ3製品、機能性表示食品6製品を展開しています。

適正飲酒のための取り組み

日本コカ・コーラは、適正飲酒の啓発のために、責任を持って自社アルコールブランドのマーケティング活動を行っています。適正飲酒啓発やお酒と健康に関する情報発信など、アルコールの有害な使用の低減および防止に向けて、お客様に適切な情報を提供するように努めています。

【アルコールの責任に関する具体的な方針】

責任あるアルコールマーケティングに関するポリシー

ローカルパートナーシップとコミュニケーションプログラム

情報と透明性

従業員の責任ある行動

北陸コカ・コーラボトリング株式会社沿革

- 1962 ● 北陸飲料株式会社設立
- 1963 ● 北陸コカ・コーラボトリング株式会社に商号変更
高岡工場新設
- 1964 ● 本社を富山県高岡市内島 3550 番地に移転
- 1970 ● 石川県松任市 (現 白山市) に石川工場新設
- 1975 ● 福井県武生市 (現 越前市) に武生工場新設
「ジョージア」缶コーヒー発売
- 1984 ● 長野コカ・コーラボトリング株式会社の経営権取得
- 1998 ● 富山県砺波市に砺波工場新設
- 1999 ● 長野コカ・コーラボトリング株式会社と合併
- 2002 ● 石川リサイクルセンター新設
- 2003 ● 砺波工場に無菌充填 PET 製造ラインを新設
本社社屋増改築工事竣工
情報システム部門を分社し、株式会社ヒスコム設立
物流部門を分社し、北陸ロジスティクス株式会社設立
製造部門を分社し、北陸コカ・コーラプロダクツ株式会社設立
- 2004 ● 販売機器メンテナンス QC 部門を分社し、北陸マシンテクノサービス株式会社設立
飲料容器リサイクル部門を分社し、株式会社北陸リサイクルセンター設立
北陸長野キャンティーン株式会社から株式会社ベネフレックスに商号変更
- 2009 ● 砺波工場に無菌充填大型 PET 製造ラインを増設
「い・ろ・は・す」天然水ボトリング開始
- 2011 ● 砺波工場に EB 無菌充填 PET 製造ライン新設
- 2012 ● 創立 50 周年記念事業「さわやかパーク」造成
- 2015 ● GRN ホールディングス株式会社 (現 GRN 株式会社) を新設分割により設立
- 2019 ● 砺波工場に新無菌充填 NAT 製造ラインを新設
- 2021 ● 砺波工場にてレモンサワー「檸檬堂」の生産を開始
- 2022 ● 創立 60 周年

▼詳細はこちら



▶▶ ホームページ



▶▶ Instagram



当社の活動はホームページ、
Instagram、X、YouTube
からもご覧いただけます



▶▶ X



▶▶ YouTube



アンケートに
ご協力を
お願いします



サステナビリティレポートをご覧ください
ありがとうございます。内容について、
皆さまのご意見をお聞かせください。当社
の今後の活動に役立てて参ります。

click ▼

<https://forms.office.com/r/Vc6Q6yJ6JL?origin=lprLink>



北陸コカ・コーラボトリング株式会社
COPYRIGHT© Hokuriku Coca-Cola Bottling Co.,Ltd.